

# やまぐちっ子 学力向上だより

第 1 3 号 H21.8.31

山口県教育庁義務教育課

**全国学力・学習状況調査の結果** 「平成21年度全国学力・学習状況調査」の結果が公表されましたので、山口県の状況をお知らせいたします。各学校の分析や保護者への情報提供等の参考として活用してください。

全体の結果については、次のとおりです。詳しくは3頁以降を参照してください。

## 全体の結果

- 平均正答率を山口県と全国とで比べると、小・中学校ともに、調査を実施した過去3年間で最も良い結果である。中学校では4分野全てにおいて全国平均を上回っており、小学校では下回ってはいるものの、特に、算数の「知識」に関する問題の平均正答率が全国平均レベルになるなど、全国平均に近づいている。
- 「知識」に関する問題に比べて、「活用」に関する問題の平均正答率が低く、19・20年度の結果と同じ傾向がみられたが、中学校国語では、「活用」に関する問題の平均正答率が大きく上昇するなど改善の兆しがみられる。

**調査結果の活用** 学校に提供された調査結果は、これまで把握している各学校の課題と整合しているかを確認したり、取組の改善を行うために用いたりするとともに、こうした情報を家庭や地域の方々と共有することが重要です。

**保護者との情報の共有** また、学校全体はもとより、児童生徒一人ひとりの状況について、今後の取組方針等も含めて、保護者に伝えていくことが大切です。

例えば、次のような方法が考えられます。

調査結果の個票を児童生徒に返却する際、児童生徒一人ひとりの「頑張っていること」や「課題がみられること」等を示し、今後どういうことに取り組んだらいいかをメッセージとして添えるとともに、調査の趣旨や結果の見方などについても、学年だよりや学校だより等で分かりやすく説明したものを配付する。

学校行事等が多く、何かと忙しい時期を迎えますが、できるだけ早い情報の提供が、大切なのではないのでしょうか。

次ページに、保護者用説明プリントの例を作成しました。参考にしてください。

(参考)

### 返却時の個人へのメッセージ及び個票の見方 (例)

- ◇ 本年度4月21日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。お子さんの学力の状況を確認し、これからの参考にしてください。  
これをきっかけに、お子さんと学習の進め方などについて話し合ってみましょう。

#### (結果の表の見方：例)

国語 B

●出題内容  
国語Bは、立場や理由を明確にして発表したり、調べて分かったことを条件に合わせて書いたり、筆者の考えを自分の言葉で書きかえたりする問題です。  
これまで学習した内容を国語以外の学習や生活の中でも活用できるようにしましょう。

●全国の状況(正答数ごとの児童の割合)

正答率	0%	5%	10%	15%	20%
児童数	100	100	100	100	100

問題番号	問題の内容	国語A	算数A	算数B	国語事項	問題形式	結果	全国の正答率
1			★			短答	○	11.5
			★			記述	×	17.8
		★				選択	-	75.6
2			★			記述	○	25.9
3	説明文の始まりの部分を読んで、書き方のくふうを説明したものとして、ふさわしいものを選び				★	選択	×	
(1)	筆者の考えを自分の言葉で書きかえたりまとめたりして書く 〔知識50点、行動50点〕、「もうワンランク上のむずかしい点」				★	記述	-	
(2)					★	記述	○	
	バスケットボールの作戦図をもとに、ボールをわたす順番を整理する	★				短答	×	
4	バスケットボールの作戦図をもとに、語の相立てをくふうしながらチームのせめ方を説明する	★			★	記述	-	
		★			★	記述	-	62.2

各問題の結果が分かります。  
○：正答，×：誤答，-：無回答

お子さんの正答数がどこに入るかを見ると、全国の中での状況が分かります。

国語B全体の正答数が分かります。  
国語Aや算数A、Bと比べてみましょう。

正答数 選択 0 / 2 問 短答 1 / 2 問 記述 3 / 6 問 全体 4 / 10 問  
話すこと 2 / 5 問 書くこと 1 / 2 問 読むこと 1 / 3 問 言語事項 1 / 2 問

選択、記述など問題形式別の正答数です。

内容ごとの正答数が分かります。  
得意なところや苦手なところを確認しましょう。

- 漢字の読み書きについては、しっかりと身に付いています。これからも、ノートや日記などで覚えた漢字を使うようにしましょう。
- 文章の内容をまとめ、小見出しを付けることはよくできています。今後、自分の考えを条件に合わせて書くことができるようになるといいですね。自分が思ったことや考えたことをノートにまとめるなど、工夫してみましょう。
- 基本的な計算などはよくできています。これからは、なぜそうなるのかを考え、友達に分かりやすく説明するなど、工夫してみましょう。

# 平成 21 年度全国学力・学習状況調査の結果について

## 1 調査の概要

### (1) 目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

### (2) 調査期日 平成 21 年 4 月 21 日 (火)

### (3) 4 月 21 日に調査を実施した学校数・児童生徒数

学 年	学 校 数	児 童 生 徒 数
小学校第 6 学年	市町立小学校 319 校 特別支援学校 1 校	児 童 12,741 人
中学校第 3 学年	縣市町立中学校 158 校 中等教育学校 1 校 特別支援学校 4 校	生 徒 12,472 人

### (4) 調査内容

#### ① 教科に関する調査 (国語、算数・数学)

問題 A…主として「知識」に関する問題

問題 B…主として「活用」に関する問題

#### ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

ア 児童生徒に対する調査【小学校…77項目 中学校…77項目】

イ 学校に対する調査【小学校…98項目 中学校…95項目】

## 2 結果概要(県市町立学校)

### (1) 教科に関する結果

#### ① 全体の結果

- 平均正答率を山口県と全国とで比べると、小・中学校ともに、調査を実施した過去3年間で最も良い結果である。中学校では4分野全てにおいて全国平均を上回っており、小学校では下回ってはいるものの、特に、算数の「知識」に関する問題の平均正答率が全国平均レベルになるなど、全国平均に近づいている。
- 「知識」に関する問題に比べて、「活用」に関する問題の平均正答率が低く、19・20年度の結果と同じ傾向がみられたが、中学校国語では、「活用」に関する問題の平均正答率が大きく上昇するなど改善の兆しがみられる。

#### ② 教科ごとの結果

##### 【小学校国語】

- ・問題A：全国平均は下回っているものの、昨年度に比べ差が縮小
- ・問題B：全国平均との差が1ポイント以内に縮小

##### 【小学校算数】

- ・問題A：全国平均レベルになり、昨年度に比べ差が大幅に縮小
- ・問題B：全国平均は下回っているものの、昨年度に比べ差が縮小

##### 【中学校国語】

- ・問題A：全国平均を上回っており、昨年度に比べ上昇
- ・問題B：全国平均を2ポイント近く上回っており、その差は過去最大

##### 【中学校数学】

- ・問題A：全国平均を上回っており、昨年度に比べ上昇
- ・問題B：全国平均を上回っており、昨年度に比べ上昇

### (2) 生活習慣や学習環境等に関する結果

#### ① 児童生徒に対する調査

##### 【望ましい状況】

- 朝食を毎日食べること、起床・就寝時刻は、これまでと同様に望ましい傾向。
- いじめを許さない心は、これまでと同様に望ましい傾向。きまりを守る態度、人の役に立ちたいという思いは、年度ごとに改善しており、全国と比べても望ましい状況。
- 近所の人へのあいさつ、地域行事への参加は、昨年度より改善し、全国と比べても望ましい状況。

##### 【課題とみられる状況】

- 感想文や説明文を書くことを難しいと思う割合が、全国と比べて高い状況。

- 学校の授業時間以外での学習時間（小学校）、自分で計画を立てて取り組む学習は、昨年度より改善傾向にあるものの、間違えた問題の復習は、全国と比べると低い状況。
- テレビやビデオ・DVDの視聴時間は、全国と同様に長い状況。

## ② 学校に対する調査

### 【望ましい状況】

- 児童生徒の発言や活動時間を確保して授業を進める学校、国語の指導として書く習慣を身に付ける授業を行った学校の割合は、年度ごとに改善傾向にあり、全国と比べても高い状況。
- 昨年度の調査結果を学校全体で活用した学校、保護者や地域の人たちと共有した学校の割合は、全国と比べると高い状況。
- 授業参観の年間実施回数、PTAや地域の方のボランティアとしての諸活動への参加、学校や地域であいさつをするよう指導している学校の割合は、全国と比べ高い状況。職場見学や職場体験活動を行っている小学校の割合は、年度ごとに高くなっており、全国と比べても高い状況。

### 【課題とみられる状況】

- 算数・数学の習熟の遅いグループに対する少人数指導を行った学校の割合は、全国と比べると低い状況。
- 授業研究を伴う校内研修の実施回数、校長による授業参観の頻度は、昨年度より改善しているものの、全国と比べると低い傾向。
- 放課後を活用した補充学習を実施した学校は、前年度に比べ大きく改善しているものの、ボランティア等による授業サポートを行っている学校と同様に、全国と比べると低い状況。

## (3) 今後の対応

- 各学校は、今回の調査結果で明らかになった成果や課題を踏まえ、調査後直ちに実施している課題解決に向けた取組を改善し、具体的な授業改善を重点的に進めるなど全教職員による実効性のある取組を、保護者、地域と一体となって推進する。特に、個々の児童生徒の学習状況について保護者と相互に情報や課題の共有を図り、一人ひとりに応じた指導の充実等に取り組む。
- 市町教委は、市町全体及び学校ごとの課題を踏まえ、これまでの取組を検証し、各地域の実態に即した学力向上対策を一層推進するとともに、校内研修の充実や授業改善等の学校ごとの個別課題に対しては、専門的、継続的かつ重点的な指導・助言に努めるなど、学校と一体となって学力の向上を図る。
- 県教委は、県全体、各市町及び学校の状況をしっかりと把握し、授業改善のための教材開発、効果的な実践事例の全県的な普及促進、授業力向上を図る研修の充実等、市町教委と一層緊密な連携を図りながら、学力向上に向けた取組をさらに強化・加速化する。

### 3 参考データ等

#### (1) 教科の全体的な結果

	総問題数(問)	平均正答率 (%)				
		山口県	全 国	全国との比較		
				21年度	20年度	19年度
小学校	60	64.8	66.0	-1.2	-2.9	-1.4
中学校	92	69.6	68.3	+1.3	+0.4	+1.3

#### ○「知識」に関する問題

		平均正答数 (問)		平均正答率 (%)				
		山口県	全 国	山口県	全 国	全国との比較		
						21年度	20年度	19年度
小学校	国語A	12.4/18	12.6/18	68.6	69.9	-1.3	-2.0	-1.1
	算数A	14.1/18	14.2/18	78.6	78.7	-0.1	-3.0	-1.6
中学校	国語A	25.7/33	25.4/33	78.0	77.0	+1.0	+0.6	+1.1
	数学A	21.1/33	20.7/33	64.0	62.7	+1.3	+0.2	+1.4

#### ○「活用」に関する問題

		平均正答数 (問)		平均正答率 (%)				
		山口県	全 国	山口県	全 国	全国との比較		
						21年度	20年度	19年度
小学校	国語B	5.0/10	5.1/10	49.6	50.5	-0.9	-3.0	-2.0
	算数B	7.4/14	7.7/14	52.8	54.8	-2.0	-2.9	-1.5
中学校	国語B	8.4/11	8.2/11	76.3	74.5	+1.8	-0.1	+1.0
	数学B	8.8/15	8.5/15	58.6	56.9	+1.7	+0.8	+1.8

【参考：平成20年度】

○「知識」に関する問題

		平均正答数（問）		平均正答率（％）	
		山口県	全 国	山口県	全 国
小学校	国語A	11.4/18	11.8/18	63.4	65.4
	算数A	13.1/19	13.7/19	69.2	72.2
中学校	国語A	25.2/34	25.0/34	74.2	73.6
	数学A	22.8/36	22.7/36	63.3	63.1

○「活用」に関する問題

		平均正答数（問）		平均正答率（％）	
		山口県	全 国	山口県	全 国
小学校	国語B	5.7/12	6.1/12	47.5	50.5
	算数B	6.3/13	6.7/13	48.7	51.6
中学校	国語B	6.1/10	6.1/10	60.7	60.8
	数学B	7.5/15	7.4/15	50.0	49.2

【参考：平成19年度】

○「知識」に関する問題

		平均正答数（問）		平均正答率（％）	
		山口県	全 国	山口県	全 国
小学校	国語A	14.5/18	14.7/18	80.6	81.7
	算数A	15.3/19	15.6/19	80.5	82.1
中学校	国語A	30.6/37	30.2/37	82.7	81.6
	数学A	26.4/36	25.9/36	73.3	71.9

○「活用」に関する問題

		平均正答数（問）		平均正答率（％）	
		山口県	全 国	山口県	全 国
小学校	国語B	6.0/10	6.2/10	60.0	62.0
	算数B	8.7/14	8.9/14	62.1	63.6
中学校	国語B	7.3/10	7.2/10	73.0	72.0
	数学B	10.6/17	10.3/17	62.4	60.6

## (2) 各教科ごとの結果

### ① 小学校国語

国語Aについては、平均正答率が**68.6%**であり、知識・技能の定着に一部課題がみられる。国語Bについては、平均正答率が**49.6%**であり、知識・技能を活用する力に課題がある。

#### 【相当数の児童ができている点】

- (A) 第5学年までに学習した漢字を読むこと。
- (A) 文章の内容に合わせて、小見出しを書くこと。

#### 【課題のある点】

- (A) ローマ字の読み書き、接続語を使つての文の分割、毛筆作品の校正をすること。
- (B) 目的や意図に応じて考えをまとめて書くこと。

### ② 小学校算数

算数Aについては、平均正答率が**78.6%**であり、知識・技能の定着に一部課題がみられる。算数Bについては、平均正答率が**52.8%**であり、知識・技能を活用する力に課題がある。

#### 【相当数の児童ができている点】

- (A) 整数、小数、分数の計算をすること。
- (A) 平行四辺形などの性質を理解していること。

#### 【課題のある点】

- (A) 百分率を求めること。
- (B) 情報を整理し、自分の考えの根拠を、言葉や式などを使って説明すること。

### ③ 中学校国語

国語Aについては、平均正答率が**78.0%**であり、知識・技能の定着に一部課題がみられる。国語Bについては、平均正答率が**76.3%**であり、知識・技能を活用する力に一部課題がみられる。

#### 【相当数の生徒ができている点】

- (A) 本文の展開に即して内容をとらえること。
- (B) 語句に注意し、その効果的な使い方に気付くこと。

#### 【課題のある点】

- (A) 短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむこと。
- (B) 資料に表れている工夫を自分の表現に役立て書くこと。

### ④ 中学校数学

数学Aについては、平均正答率が**64.0%**であり、知識・技能の定着に一部課題がみられる。数学Bについては、平均正答率が**58.6%**であり、知識・技能を活用する力に課題がある。

#### 【相当数の生徒ができている点】

- (A) 正の数と負の数の計算や文字式の計算をすること。
- (A) 展開図で表されている空間図形の面の位置関係をとらえること。

#### 【課題のある点】

- (A) 証明の意義について理解すること。
- (B) 事象を的確にとらえ、数学的な表現を用いて説明すること。